

2012 年 9 月の東北地方の天候

【 9 月の特徴 】

○気温は記録的に高く、日照時間は記録的に多かった

(1) 2012 年 9 月の概況

上旬と中旬は高気圧におおわれて晴れの日が多かった。特に中旬は晴れて暑い日が続くなど、月を通して平年より暖かい空気におおわれたため気温はかなり高くなった。下旬は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなり、7月中旬から続いていた少雨の状態と8月中旬から続いていた高温の状態が解消した。月平均気温平年差は東北地方で+3.5℃とかなり高くなり、1946年の地域平均の統計開始以来高い方からの1位を更新した。また、統計に用いている17地点全てで9月の月平均気温高い方からの1位を更新した。月間日照時間平年比は東北日本海側で134%、東北太平洋側で129%でともにかなり多くなり、東北日本海側では1946年の地域平均の統計開始以来多い方からの1位を更新し、若松と深浦で9月の月間日照時間の多い方からの1位を更新した。

月平均気温はかなり高い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。月間日照時間はかなり多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多かった。平年より暖かい空気におおわれたため気温はかなり高くなった。

2日から6日にかけては上空の寒気や湿った気流の影響で大気の状態が不安定となり局地的に大雨となった。9日から10日にかけては前線が日本海に停滞した影響で青森県と秋田県で大雨のところがあつた。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。

中旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が続いた。平年より暖かい空気におおわれたため気温はかなり高くなり、18日は5地点で9月の日最高気温の高い方からの1位を更新した。また、17日は2地点、18日は1地点で9月の日最低気温の高い方からの1位を更新し、そのうち盛岡では通年の1位を更新した。

11日は前線の影響で東北日本海側で大雨のところがあつた。12日は東北太平洋側で、15日は山形県で、大気の状態が不安定となり局地的に大雨となった。19日は前線の影響で各県で大雨のところがあつた。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間はかなり多い。

下旬：この期間、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間のはじめと中頃は晴れの日があつた。

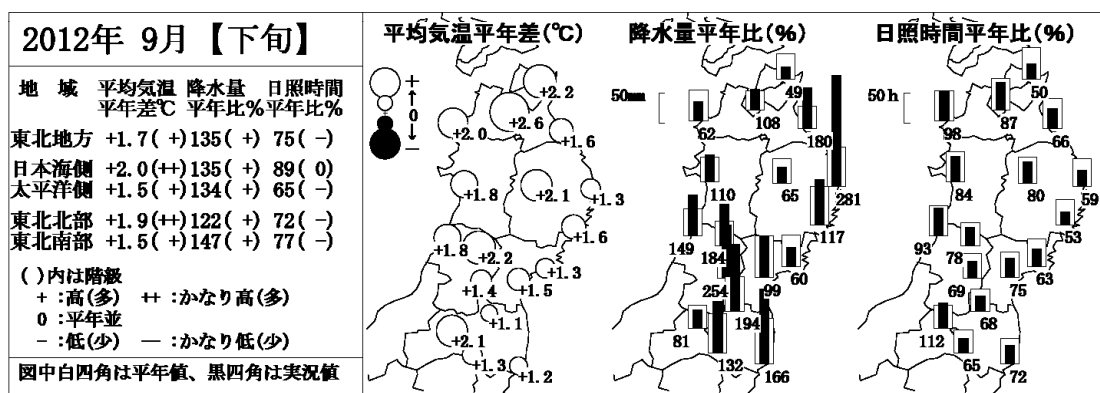
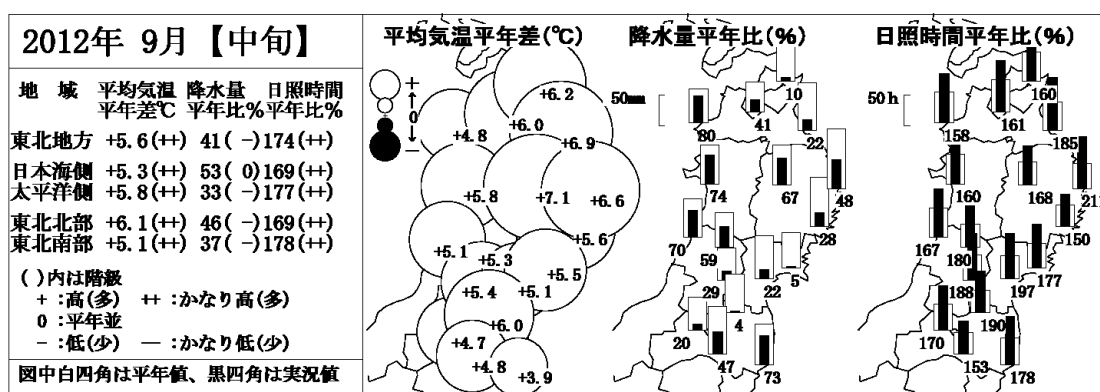
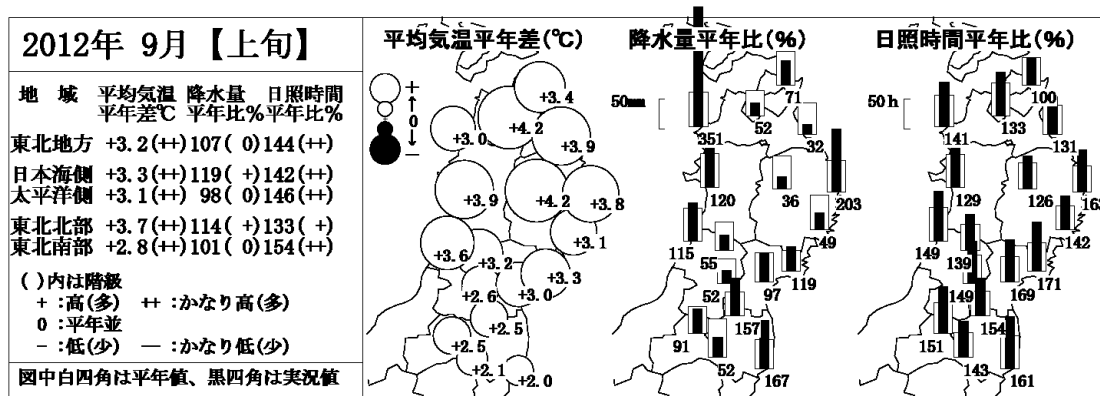
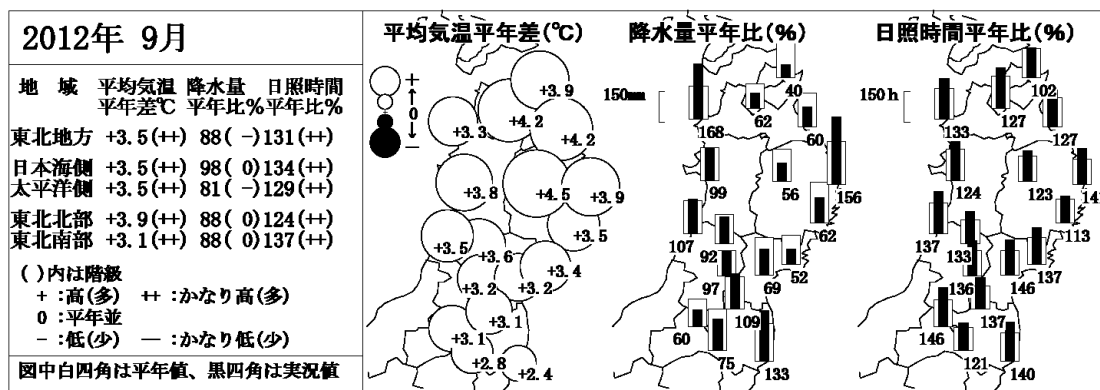
23日から24日にかけては低気圧が関東の南から北東に進んだ影響で東北太平洋側を中心に大雨のところがあつた。28日から29日にかけては台風第18号が日本の東を北上した影響で東北太平洋側で大雨のところがあつた。30日は台風第17号が東北地方を縦断した影響で各県で大雨のところがあつた。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の气象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2012年9月の月・旬平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2012 年 9 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	23.5	(+4.2)	++	76.0	(62)	—	6	201.3	(127)	++
深 浦	22.4	(+3.3)	++	273.0	(168)	++	12	202.4	(133)	++
む つ	22.2	(+3.9)	++	67.5	(40)	—*	8	148.1	(102)	○
八 戸	23.1	(+4.2)	++	101.0	(60)	—	10	182.4	(127)	++
秋 田	24.2	(+3.8)	++	159.0	(99)	○	13	191.3	(124)	++
盛 岡	23.2	(+4.5)	++	89.5	(56)	—	5	152.1	(123)	++
大 船 渡	23.0	(+3.5)	++	125.0	(62)	—	14	131.3	(113)	+
宮 古	22.7	(+3.9)	++	333.0	(156)	+	15	181.1	(141)	++
仙 台	23.9	(+3.2)	++	130.0	(69)	—	13	176.5	(146)	++
石 巻	23.5	(+3.4)	++	74.5	(52)	—	7	182.1	(137)	++
山 形	23.3	(+3.2)	++	124.0	(97)	○	10	174.6	(136)	++
新 庄	23.0	(+3.6)	++	132.5	(92)	○	14	157.9	(133)	++
酒 田	24.6	(+3.5)	++	173.0	(107)	+	12	207.1	(137)	++
福 島	24.2	(+3.1)	++	175.0	(109)	○	12	156.9	(137)	++
若 松	23.4	(+3.1)	++	82.5	(60)	—	9	192.3	(146)	++
白 河	22.2	(+2.8)	++	154.5	(75)	—	12	137.6	(121)	+
小 名 浜	23.9	(+2.4)	++	251.0	(133)	+	14	195.3	(140)	++

(注) 1. 平年値は 1981～2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

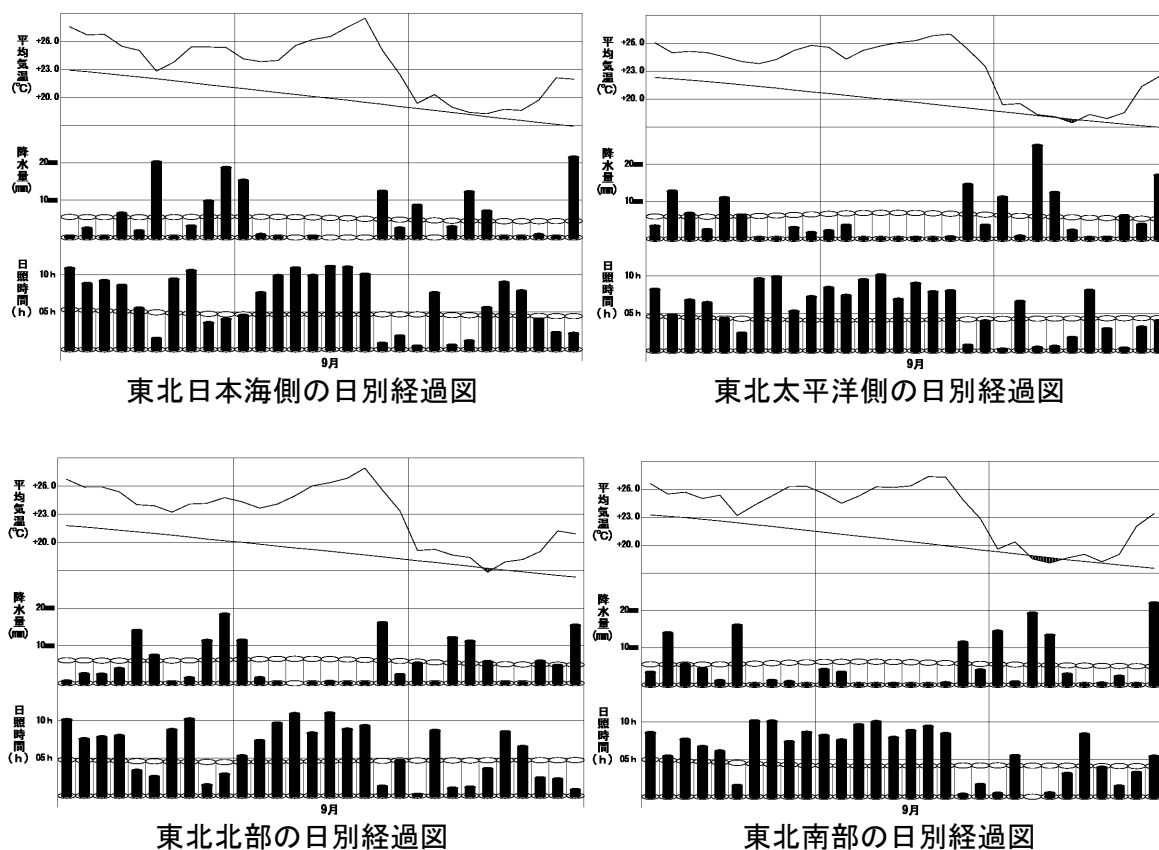
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2012 年 9 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）
 気温の陰影は平年値より低いことを示す。

(6) 2012 年 9 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	大船渡	23.0	+3.5	21.5（2007）	1963	19.5
	新庄	23.0	+3.6	21.7（2007）	1957	19.4
	若松	23.4	+3.1	22.8（2007）	1953	20.3
	深浦	22.4	+3.3	21.5（1961）	1940	19.1
	青森	23.5	+4.2	21.6（1994）	1882	19.3
	むつ	22.2	+3.9	20.4（1994）	1935	18.3
	八戸	23.1	+4.2	20.9（1994）	1936	18.9
	秋田	24.2	+3.8	22.4（2007）	1883	20.4
	盛岡	23.2	+4.5	20.7（2007）	1923	18.7
	宮古	22.7	+3.9	21.1（1928）	1883	18.8
	酒田	24.6	+3.5	23.2（2007）	1937	21.1
	山形	23.3	+3.2	22.2（2007）	1889	20.1
	仙台	23.9	+3.2	22.3（2007）	1927	20.7
	石巻	23.5	+3.4	22.6（1890）	1887	20.1
	福島	24.2	+3.1	23.1（2007）	1889	21.1
	白河	22.2	+2.8	21.4（1999）	1940	19.4
	小名浜	23.9	+2.4	23.8（1999）	1910	21.5

月平均気温低い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新
3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	若松 深浦	192.3 202.4	146 133	191.1 (2007) 195.1 (1969)	1953 1940	132.1 152.3
2	新庄 酒田 小名浜	157.9 207.1 195.3	133 137 140	163.0 (1968) 210.4 (1946) 226.2 (1933)	1957 1937 1910	119.0 150.7 139.5
3	仙台	176.5	146	189.2 (1933)	1927	121.2

月間日照時間少ない方からの順位更新
3位以内はなし

(7) 2012年9月の真夏日・猛暑日・日最低気温25℃以上の日数と9月の最高気温・最低気温の最高

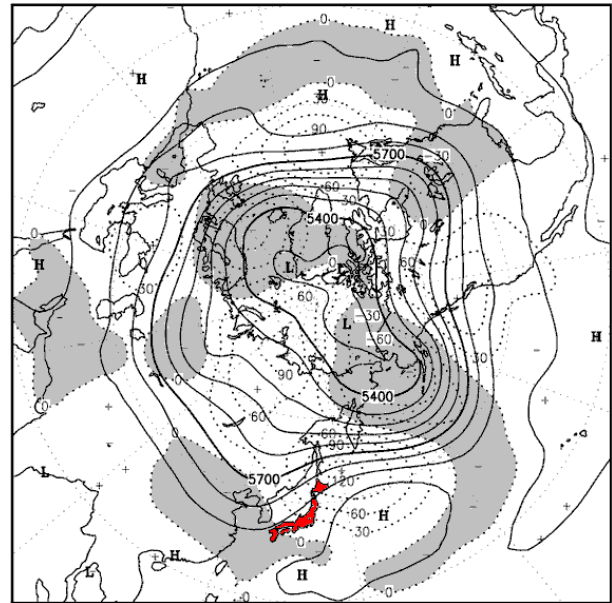
	真夏日		猛暑日		日最低気温 25℃以上		9月の最高気温			9月の最低気温 の最高			最高気温、最低気温の 最高の統計開始 (年/月)
	今年	平年	今年	平年	今年	平年	(℃)		(起日)	(℃)		(起日)	
青森	12	1.0	1	0.0	0	0.0	36.1	*	18日	23.2		1日	1882/1
深浦	7	0.4	0	0.0	0	0.0	32.0		18日	23.5		1日	1940/1
むつ	5	0.4	0	0.0	0	0.0	33.3	*	18日	22.3		1日	1935/1
八戸	9	1.2	0	0.0	1	0.0	34.8		17日	25.6		18日	1936/7
秋田	12	1.6	2	0.0	3	0.1	36.1	*	18日	26.2		18日	1882/10
盛岡	17	1.1	0	0.0	1	0.0	33.3		14日	25.3	**	18日	1923/9
大船渡	1	0.8	0	0.0	2	0.0	32.3		13日	25.1	*	17日	1963/8
宮古	11	1.1	0	0.0	0	0.0	32.6		16日	24.8		18日	1883/3
仙台	16	1.8	0	0.1	0	0.1	33.5		13日	24.6		17日	1926/10
石巻	5	0.7	0	0.0	3	0.0	32.1		13日	25.4	*	17日	1887/9
山形	17	3.8	1	0.1	0	0.0	35.0		18日	22.4		17日	1889/7
酒田	15	2.4	2	0.0	2	0.2	35.8	*	18日	25.6		1日	1937/1
新庄	16	2.1	0	0.0	0	0.0	34.5	*	18日	24.4		18日	1957/9
福島	17	4.9	0	0.2	2	0.2	34.5		11日	25.2		17日	1889/5
若松	16	4.4	0	0.0	0	0.0	34.4		14日	21.6		19日	1953/8
白河	12	1.7	0	0.0	0	0.0	32.3		5日	23.0		18日	1940/1
小名浜	2	1.4	0	0.0	0	0.2	31.7		13日	24.8		17日	1910/5

9月の「最高気温」と「最低気温の最高」の「**」は統計開始以来の年の1位の値を記録、「*」は統計開始以来の9月の1位の値を記録したことを表す。

(8) 2012 年 9 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、日本付近は千島を中心とする顕著な正偏差におおわれた。偏西風が大きく蛇行し、中国東北区から黄海にかけてとベーリング海から南の北太平洋では気圧の谷が深く、日本の東では気圧の尾根が高く太平洋高気圧の勢力が強かった。

東北地方は、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温は記録的に高くなり、日照時間は記録的に多くなった。また中旬の降水量は東北太平洋側を中心に少なかった。



2012 年 9 月の平均 500hPa 高度

実線は高度(m)、間隔 60m。点線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差（寒気に対応）。

（９）2012 年 9 月の高温をもたらした大気の流れの特徴

東北地方では、9 月は中旬まで太平洋高気圧におおわれて晴れる日が多く、残暑の厳しい日が続いた。特に中旬は太平洋高気圧におおわれて晴れて暑い日が続き、17 日と 18 日は 9 月の日最高気温と日最低気温の高い方からの 1 位を更新したところがあった。

日本付近の上空では偏西風が大きく北に蛇行した。これに関連して、日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強まるとともに、北日本と東日本に張り出した。高気圧の張り出しに伴って南から暖かい空気が流れ込んだことや、高気圧におおわれて晴れたことなどにより気温がかなり高くなった。

日本付近の偏西風の北への蛇行には、アラビア海からベンガル湾にかけてとその周辺域でモンスーンに伴う積雲対流活動が活発だったことが一因と考えられる。

また、9 月中旬は、偏西風の北への蛇行に加えて、フィリピン北東海上の活発な対流活動や沖縄から東シナ海を北上した台風第 16 号の影響により、北日本と東日本で高気圧が非常に強まったとみられる。

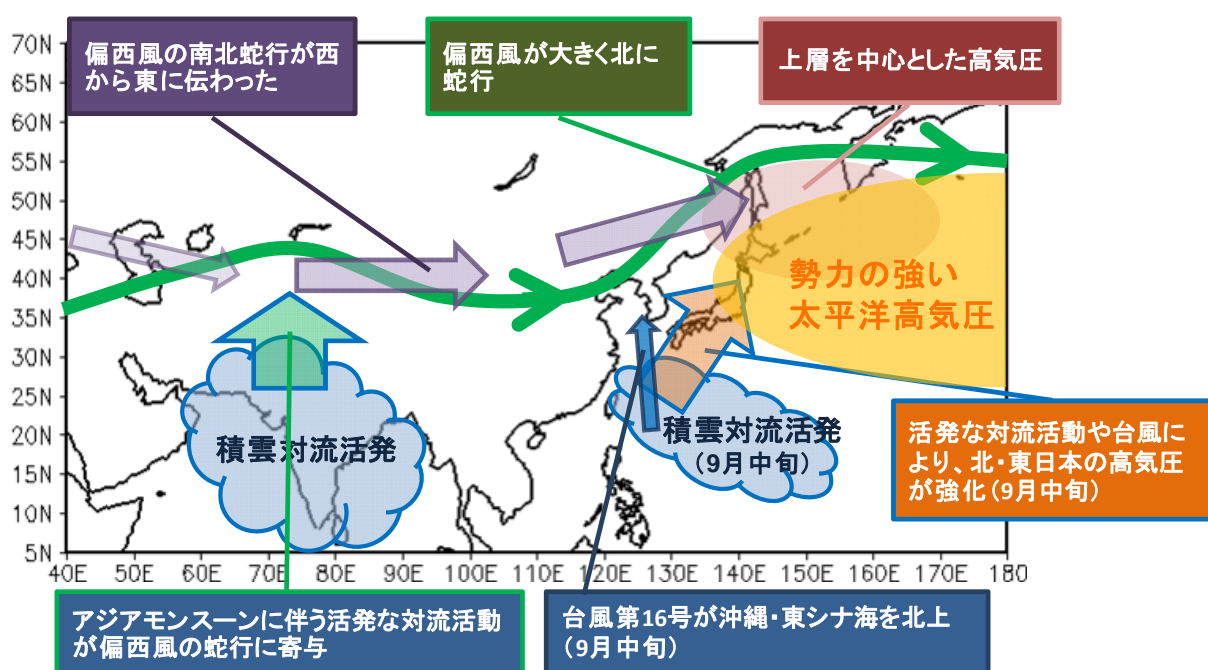


図 9 月上旬・中旬の大気の流れの特徴（模式図）

社会的に影響の大きい天候に関する東北地方気象情報の発表状況

平成 24 年 8 月 20 日 15 時 00 分	少雨に関する東北地方気象情報	第 1 号
平成 24 年 8 月 24 日 15 時 00 分	少雨と長期間の高温に関する東北地方気象情報	第 2 号
平成 24 年 9 月 7 日 15 時 00 分	少雨と長期間の高温に関する東北地方気象情報	第 3 号
平成 24 年 9 月 14 日 15 時 00 分	少雨と長期間の高温に関する東北地方気象情報	第 4 号